

滋賀

令和時代の滋賀は、「戦国」が面白い。



戦国を訪ねる旅マップ

滋賀 京都 福井の歴史を感じる旅



1 安土城跡 (近江八幡市安土町下豊浦)
織田信長が天下統一の拠点として築いた「幻の城」です。標高199mの安土山の上にはそびえ立つ城の天主は五層七重で、金箔の瓦に朱塗りの柱など、イエズス会の宣教師ルイス・フロイスが「ヨーロッパでも見られないほど」と評した豪華絢爛なものでした。信長が死去した後、完成からわずか3年で焼失してしまいましたが、現在も石垣は良好な状態で残っています。天主跡に立ち、西の湖の雄大な景色を見下ろせば、あなたも天下人気分になれるかも。少し足を伸ばすと、時代劇など映画のロケで有名な八幡堀です。歴史を感じながら、美しい町並み散策をお楽しみください。



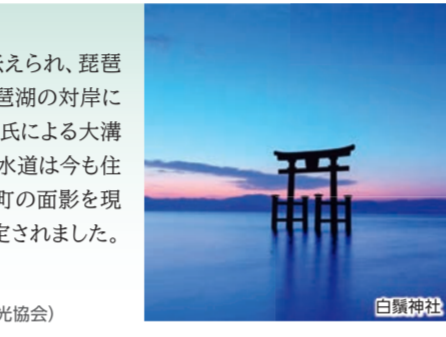
2 比叡山延暦寺 (大津市坂本町4220)
約1200年前に伝教大師最澄が開山した、天台宗の総本山です。1571年、織田信長による焼き討ちにより山全体が大きな被害を受けた後、豊臣秀吉や徳川家康の代に復興されました。東塔、西塔、横川に分かれており、一帯がユネスコの世界文化遺産に登録されています。延暦寺の麓に広がる坂本の町には、今も至るところで「穴太衆積み」(穴太衆は、安土城築城でも活躍した石工職人集団)が見られ、また周辺には明智光秀ゆかりの西教寺や豊臣秀吉ゆかりの日吉社もあります。



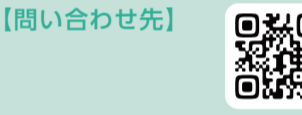
3 彦根城 (彦根市金亀町1-1)
井伊直政を藩祖とする彦根藩歴代藩主井伊家の居城で、明治の廃城令や先の大戦の戦火を逃れた天守は国宝に指定されています(『ひこにゃん』にも会いに来てくださいね!)。城の周りには、水を巧みに取り入れた池泉回遊式庭園である名勝「玄宮園」があり、また城下町としての風景も良好に保存されており、まち歩きもお楽しみいただけます。更に足を伸ばすと、「(石垣)三成に過ぎたるもの」と評された佐和山城跡があります。佐和山城の用材は、彦根城の普請で使用(移築)されましたが、現在も土塁や石垣が一部残っています。



4 大溝城跡 (高島市勝野)
織田信長が甥の信澄に築かせた大溝城は、明智光秀による設計と伝えられ、琵琶湖の内湖(乙女が池)を巧みに利用した水城で、安土城から見て琵琶湖の対岸に位置します。現在は本丸に石垣を残すのみですが、城下町には、分部氏による大溝藩の治世の名残が見られます。山から城下町に飲み水を運ぶ古式上水道は今も住民に利用されている他、集落の道路に残る「町割り水路」など、城下町の面影を現在に継承する「大溝の水辺景観」は、国の「重要文化的景観」に選定されました。少し足を伸ばすと、湖中の島で有名な白鬚神社があります。



5 甲賀流忍術屋敷 (甲賀市甲南町電法師2331)
甲賀は、戦国時代に「甲賀の忍び」として活躍した甲賀流忍者の里です。この屋敷は甲賀五十三家筆頭格甲賀望月氏の旧邸で、「どんでん返し」や「落としし」などの巧妙なかくりが施された、今に残る本物の忍術屋敷です。忍者の歴史や暮らしを記した史料や忍具も展示されています。また、そこから少し足を伸ばすと連続テレビ小説「スカレット」の舞台、信楽です。信楽焼の窯元めぐりを楽しみながら、旅のお土産に素敵な品を探しに行きませんか?



滋賀県観光振興局
滋賀県大津市京町4丁目1番1号
TEL:077-528-3741
[HP] https://www.pref.shiga.lg.jp/



(公社)びわこビジターズビューロー
滋賀県大津市打出浜2-1「コラボしが21」6階
TEL:077-511-1530
[HP] https://www.biwako-visitors.jp/

福井

明智光秀
雌伏の地
飛躍の地



京都

福井

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会 作成

京都

明智光秀、細川ガラシャ
細川藤孝(幽斎)、忠興
ゆかりの地



1 一乗谷朝倉氏遺跡 (福井市城戸1内町)
戦国時代に朝倉氏5代が103年間にわたって治めた城下町。美濃から逃れた光秀は信長に仕える前に朝倉義隆に仕えたとされています。後の将軍、足利義昭が9か月滞在し、ここで光秀と顔を合わせたのかもれません。



2 明智神社 (福井市大味町)
光秀が朝倉氏に身を寄せていた屋敷跡。娘の玉(玉子・後の細川ガラシャ)の生誕地と伝わっています。一向一揆の際、光秀が柴田勝家らに出された安堵状により村が守られたことから、現在に至るまで大味の人々は光秀を慕いこの神社を祀り続けています。



3 丸岡城 (坂井市丸岡町豊町1-59)
現存12天守のひとつ。柴田勝家の甥・勝豊が築城しました。蔵ヶ城の別名を持ち、上層望楼を備える2層3階建てで、野面積みの石垣など、初期の城郭建築様式を見せます。近くには城郭跡に併せて建てられた称念寺もあります。



4 称念寺 (坂井市丸岡町豊町1-59)
斉藤義隆の軍に明智城を滅ぼされた際、光秀は母・お牧の方の縁を頼り、妻・照子(ひろこ)とともに称念寺の門前に身を寄せたとされています。松尾芭蕉が伊勢を訪れた際に、黒髪伝説の逸話を讀んだ句碑が境内にあります。



5 越前大野城 (大野市城町3-109)
天空の城として人気を集める平山城。信長の家臣・金森近が築城しました。現在の天守は、戦後再建されたものですが、天守台の野面積みの石垣は築城当時のものです。暮盤の目状の城下町で行われた七間朝市は、400年以上の歴史を持ちます。



6 越前和紙の里 (越前市五箇地区)
1500年の歴史を持つ越前和紙の里。信長、秀吉、家康の歴代の権力者からの紙の流通を安堵する印籠が残ります。「明智記」には、光秀が信長に仕える際に越前和紙を献上したという記載があります。紙の神様川上御前を祀る岡太神社、大嘗神社の「日本一複雑な屋根」は必見。



7 国吉城址 (三方郡美浜町佐柿25-2)
若狭武田氏の重臣・栗屋勝久が築いた山城跡。朝倉氏の侵攻を10年近く撃退し続けたといわれています。1570年、信長は朝倉攻めの際、国吉城に陣を構え、光秀も同行したと考えられます。麓の若狭国吉城歴史資料館では、国吉城と城下町・佐柿を紹介しています。



8 金ヶ崎城址 (敦賀市金ヶ崎町1-4)
越前攻めで敦賀に侵襲した信長は、一乗谷へ進軍しようとした矢先、妹・お市から浅井長政の謀反の知らせを受け急遽退却したと伝わります(「金ヶ崎の退き口」)。秀吉とともに、光秀もこの大役を務め退却を成功させたといわれています。



9 劔神社 (越前町織田113-1)
1800年の歴史を有する神社。信長の祖先は当社の神官で、出身地の地名を取って「織田氏」を名乗ったとされます。本願寺の指定文化財に、梵鐘は国宝に、また秋に奉納される太鼓「明神ばやし」は、県の無形民俗文化財にそれぞれ指定されています。



10 北の庄城址 (福井市中央1-21-17)
柴田勝家が信長から49万石を与えられ、数年の歳月をかけて築かれたといわれています。天正11年(1583)、秀吉の軍に攻められた勝家は、自ら火を放ち、妻のお市の方や一族とともに社殿を焼く逃げ、同時に北の庄城もわずか8年という短い命を遂げました。



1 福知山城 (福知山市宇内配5)
光秀が丹波を平定した際に築城され、明治初期の廃城令で取り壊されたが昭和61年に市民の瓦一枚運動により天守閣が復元された。内部は光秀関連の資料が展示されているほか、最上階から城下が一望できる。開館時間9:00~17:00(入館16:30まで)



2 宮津城大鼓門 (宮津市宇外側2508)
藤孝が天正8年(1580)に築城。本能寺の変ののちは忠興の居城となる。慶長5年(1600)の忠興出陣中に石田三成軍が押し寄せた際は、藤孝自らの手で宮津城に火を付け、田辺城に籠城した。宮津城の大鼓門は宮津市立宮津小学校に移築され、正門として使われている。



3 丹波亀山城跡 (亀岡市荒原町内丸1)
天正5年(1577)丹波攻略の拠点とするため明智光秀が築城。本能寺の変の際には、この地から出陣したとされる。天守石垣の下部3分の1は築城当時の穴太積みが残る。城跡は宗教法人大本が管理しており、丹波亀山城跡の見学には、「ギャラリーおほもと」入館券(有料)の購入が必要。見学可能時間9:30~16:30



4 勝竜寺公園 (長岡市勝竜寺13-1)
織田信長の命を受け、細川藤孝(幽斎)が改修。明智光秀の娘・玉(細川ガラシャ)がお入りをし、幸せな新婚生活がこの地で過ごした。後年の山崎合戦では、敗れた光秀がこの城で最後の夜を過ごした。展示室では光秀や玉ゆかりの人物の生涯をパネルや映像で紹介。見学9:00~18:00(11~3月は17:00まで)



5 山家城址公園 (綾部市広瀬町上町76)
山家の豪族・和久氏の居城であった山家城(甲ヶ峯城)は、丹波平定の際、光秀の処罰を受け落城し、その麓に、江戸時代この地区を治めた谷氏が山家城(後の山家降屋)を築城した。現在は公園に整備され、桜や紅葉など四季折々の自然が楽しめる。資料館の見学は要予約。



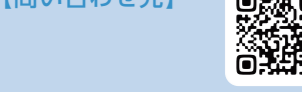
6 田辺城跡(舞鶴公園) (舞鶴市宇田辺15-22)
戦国時代に明智光秀と共に丹波平定した細川幽斎が築いた城。関ヶ原の戦いの前哨戦として、幽斎がわずか500人で、石田三成方1万5千人の兵に立ち向かった籠城戦が語り継がれている。入園自由、資料館見学は9:00~17:00 ※駐車場は近隣の市営駐車場(有料)



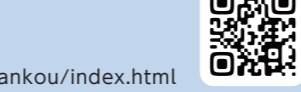
7 山崎城跡(天王山山頂) (乙訓郡大山崎町大山崎)
明智光秀と羽柴(豊臣)秀吉による山崎合戦で知られる天王山。約1時間程度で登ることができ、気軽に楽しめるハイキングコースとなっている。山頂には、曲輪、土塁などの遺構が残っている。



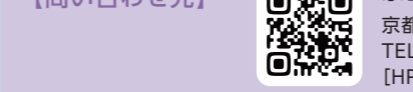
8 細川ガラシャ隠棲地の碑 (京丹後市弥栄町須川)
本能寺の変ののち、明智光秀の娘・玉(後の細川ガラシャ)は、夫の細川忠興により味土野(京丹後市弥栄町)という山深い地に幽閉された。紅葉、雪景色、満天の星、四季折々に趣を変える味土野の自然は幼いわが子と引き離された玉の心を慰めた。



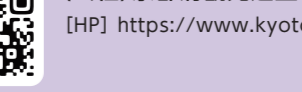
福井県観光課
福井県福井市大手3丁目17-1
TEL:0776-20-0291
[HP] https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/index.html



(公社)福井県観光連盟
福井県福井市宝永2丁目4-10
TEL:0776-23-6277
[HP] https://www.fuku-e.com/



京都府観光企画室
京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町
TEL:075-414-4843
[HP] https://www.pref.kyoto.jp/



(公社)京都府観光連盟
[HP] https://www.kyoto-kankou.or.jp/